



B S 通信尾張東地区

スカウトかわらばん

発行:ボーイスカウト愛知連盟 尾張東地区委員長 横江昭憲

NO.11 2005.10.1

「より良いスカウティングをより多くの青少年に」

- ステップアップ100周年スカウティングを盛り上げよう -

第77回せともの祭

9月10日(土)ミスせとものパレードが行われました。人力車2台にミスせとのと準ミスが乗り、総勢200人近くの鼓笛隊が随行し、瀬戸川左岸「瀬戸蔵」から廉売会場を通り「パルティせと」間の往復パレードに奉仕しました。

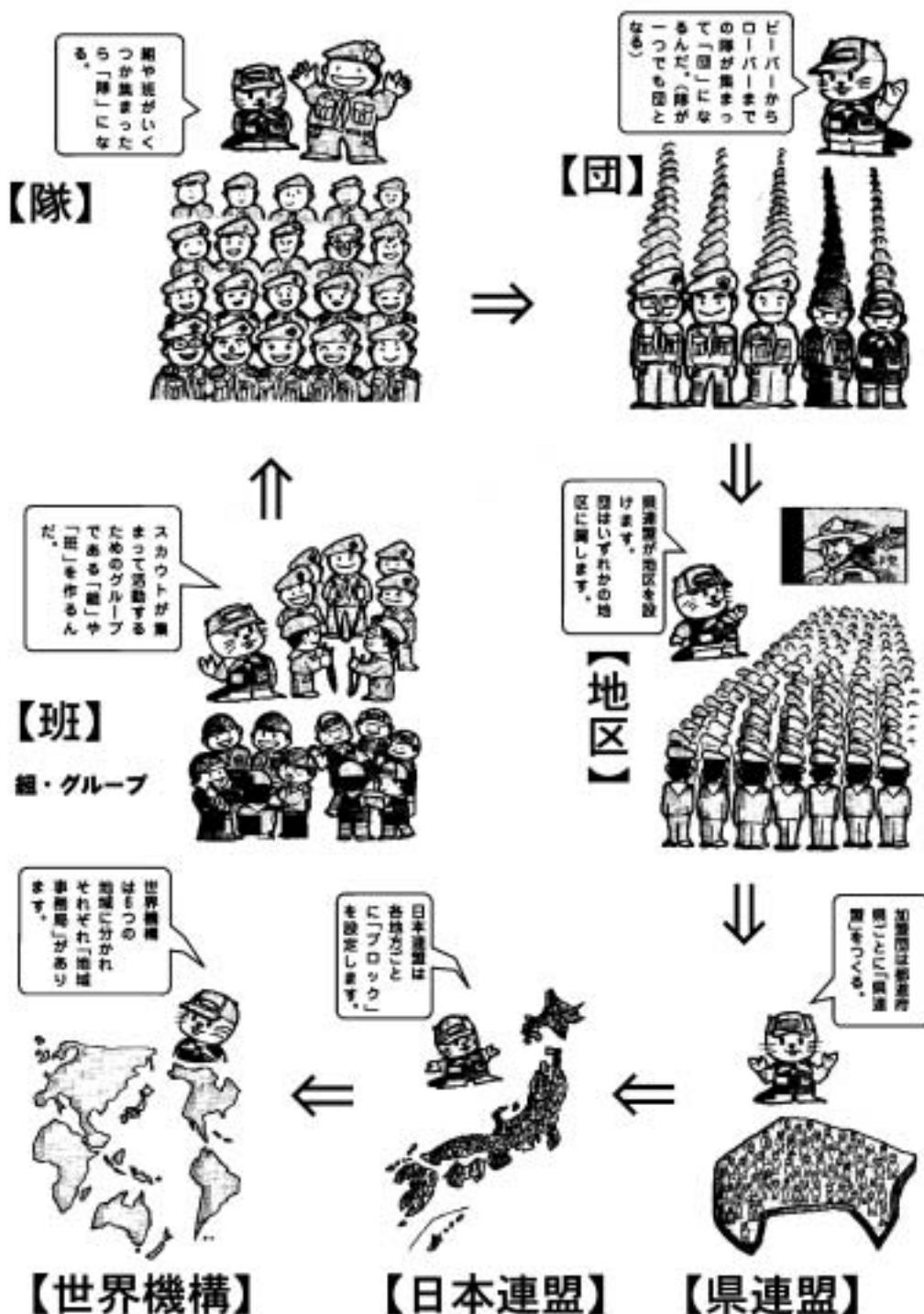
往路はボーイスカウト瀬戸第6団、第8団にガールスカウト愛知第66団で構成、復路はボーイスカウト瀬戸第1団、第5団にガールスカウト愛知第66団で構成しました。



ボーイスカウト活動を知っていますか。

地区と県連盟

団は都道府県ごとの都道府県連盟に属します。県連盟は地理的条件、加盟団の状況、運動の発展状況及び地域の実情に応じて地区を置くことができ、地区を置く場合には分割して、地区協議会、地区委員会などを設置します。その場合、地区内のすべての加盟団はその地区的構成員となります。県連盟には事務局及び各種の役員があり、地区には地区役員があります。隊長が活動する際には援助やアドバイスを得ることができます。





御在所岳くま登山

6月4日（土）～5日（日）カブ隊くまスカウトを対象にした、恒例行事 "クマ登山"（御在所岳・標高1211.95米）を行いました。宿の「朝明ヒュッテ」をスカウト6名、リーダー5名が山頂を目指し、早朝に出発。中道登山で途中森林浴、丸太渡り、ロープ登り、岩場登り有りの大変苦しい道のりでしたが、頂上に着いて見て見た雄大な景色の素晴らしいながめにスカウトは感動していました。記念写真を撮り下山しました。全員が無事故で帰宅できることと、スカウトの喜びの出合いが良い思い出となりました。



瀬戸第5団 カブ隊副長 青木真一



指導者対象救急法講習会開催

副コミッショナー 野畠邦治

6月19日（日）やすらぎ会館において指導者対象の救急法講習会が開催されました。瀬戸消防署の署員を迎え、万博会場にも設置されているAED（自動体外式除細動器）の使用について学びました。AEDを使用しなければならない事態が起きる事は望みませんが、「そなえよつねに！」で、若杉主任講師始め、受講する救急チーム、各隊指導者の真剣な眼差しに感動しました。



夏季舎營

瀬戸第1団 カブ隊 小林葵

私は、7月16日～18日に「愛知県野外教育センター」へ夏季舎營に行きました。そして色々な体験をしました。まず、私が一番楽しかったことは、サイクリングです。自転車をこいでいると風が当たって気持ちがよく最高でした。緑がいっぱいあり、キレイで自転車をこいでいても疲れませんでした。次に楽しかったことは、キャンプファイアです。自分の組がいつも呼ばれるのかドキドキとワクワクでいっぱいでした。スタンツがちゃんとできるか心配でしたが、無事に終わってホッとしました。

私はこの夏季舎營でいろいろな思い出ができました。楽しい思い出には大変だったこともあります、私はこの夏季舎營に参加してとてもよかったです。



お知らせコーナー

瀬戸市総合防災訓練

野営行事委員会

日時 11月20日(日) 9時～11時30分
場所 瀬戸市白山町1-46 白山町広場(県立瀬戸西高等学校南側)
目的 仮説避難所設営訓練
参加 ボーイ隊



歳末助け合い共同募金ボランティア協力

瀬戸スカウト協議会

瀬戸市共同募金委員会より街頭赤い羽根共同募金協力依頼(お願い)
あなたのまちの幸せのために、共同募金運動(10月1日から12月31日)
の一貫として歳末助け合い街頭募金を実施いたします。



日時 12月4日(日) 10時30分～12時
場所 9ヶ所に人数の振り分けをお願いいたします。
目的 スカウトがボランティアとして活動することに共感を持ち、
助け合うことの大切さを理解し、身近な福祉を学ぶことです。

・・・編集後記・・・

紙面掲載用の原稿、写真、地域の行事原稿、ご意見等を地区広報委員までどしどしお寄せください。
本紙に使用したイラストは、「岡崎第5団あんめの素材部屋」を利用させていただきました。

【広報委員会】

谷口錠利(尾張旭第1団) 伊藤靖史(瀬戸第1団) 宮地勇吉(瀬戸第4団) 加藤智浩(瀬戸第5団)
西村俊夫(瀬戸第6団) 加藤健(瀬戸第8団) 石川博幸(日進第1団) 矢崎勉(日進第2団)
星川由美(長久手第1団) 山田高司(地区副コミッショナー)